

岩手県技術士会 部会活動報告

活動名	平成23年度 森林水産部会 現地見学会	(CPD 番号 23-7)
主催	岩手県技術士会 森林・水産部会	
日時	平成23年7月9日(土) 11:00 ~ 14:30	
場所	岩手県九戸郡野田村前浜地区、久慈市麦生地区	
参加人数等	23人	

活動内容

1. 見学会の概要

1) 野田村前浜地区

(講師：国土防災技術(株)佐藤 達也 氏
森と緑の研究所 村井 宏 氏)

当該地区では、昭和54年までに延長1,350m、T.P.+10.3m(うち400mは平成21年度にT.P.+12.0mで災害復旧済み)の防潮堤が整備されていたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、その大部分が破壊され、背後の防潮林、国道、三陸鉄道、野田村集落が壊滅的な被害を受けた。

見学会では、現地にて被災状況の説明を受けると共に、現在計画されている応急対策の仮設防潮堤の計画案についての説明を受け、意見交換を行った。



野田村前浜地区(破壊された防潮堤)

2) 久慈市麦生地区

(講師：国土防災技術(株)佐藤 達也 氏)

当該地区は、昭和53年度から地すべり防止事業が実施され、平成15年度に概成している地すべり地である。当該地区も東日本大震災の津波により、海岸に面した山腹工が被災している。

なお、地すべり地内の地下水排除工、アンカー工等の地すべり対策工については被災していないとのこと。

現地では、津波の被害を受けた海岸沿いの施設の被災状況を見学し、意見交換を行った。



野田村前浜地区(壊滅状態の防潮林)

2. 感想

連日、様々なメディアにより報道されていた被災地であったが、被災後4ヶ月以上経ったとはいえ、現地で実際に見る被災状況は想像を絶する規模・様相であった。

現地の被災状況をこの目で見ることで、我々技術者が果たすべき役割を再確認された。

今後の復旧に向け、微力ながら技術貢献出来ればと思う。



久慈市麦生地区(被災した法枠工)

— 以上 —